

はじめに

この冊子は、大学院医学系研究科臨床心理学専攻（博士後期課程）の授業科目の履修方法及び内容の一部を示したものです。

授業科目の履修方法は、「香川大学大学院学則」及び「香川大学大学院医学系研究科規程」に定められております。

なお、博士後期課程を修了するための要件の概要は、3年以上在学し、所定の単位15単位以上（臨床研究科目の必修科目1単位、選択必修科目2単位以上、臨床実践科目の必修6単位、特別研究の必修6単位）を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することです。

入学年度に履修科目登録を行いますので、所定の期日までに「履修届」を提出してください。履修届の提出がなく履修した科目の修得単位は、原則的に認められませんので注意してください。

次に、科目区分による修得単位数及び授業時間数の概要を説明します。

【臨床研究科目（必修科目1単位 選択必修科目2単位以上）】

必修科目であり、医学系研究科臨床心理学専攻博士後期課程の基盤科目として3単位修得しなければなりません。

- ・臨床心理学における倫理 1単位（必修）
- ・臨床心理学講究（2単位）、臨床心理学プロジェクト研究（2単位）から、2単位以上を修得する。どちらか一方、あるいは両方を履修することが可能です。（選択必修）

【臨床実践科目（必修科目6単位）】

- ・臨床心理学高度実践Ⅰ（2単位）（必修）
- ・臨床心理学高度実践Ⅱ（2単位）（必修）
- ・臨床心理学高度実践Ⅲ（2単位）（必修）

【特別研究】6単位

臨床心理学分野における研究遂行能力を育成することを目的として、博士論文作成やその後の研究活動に必要な能力の個別指導を行います。具体的には、研究課題の設定、検討課題の整理、先行研究のレビュー、調査・実験の設計、データ分析手法、論文執筆、発表方法、研究倫理の遵守など、研究全般に必要な知識と技能を習得します。

以上、【臨床研究科目】3単位以上、【臨床実践科目】6単位、【特別研究】6単位、合計15単位以上の単位を修得する必要があります。

●授業科目、単位数及び履修年次

表 臨床心理学専攻博士後期課程カリキュラム

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		
			必修	選択	自由
臨床研究科目	臨床心理学における倫理	1 通	1		
	臨床心理学講究	1・2 通		2	
	臨床心理学プロジェクト研究	2 通		2	
	小計 (3 科目)	—	1	4	0
臨床実践科目	臨床心理学高度実践Ⅰ	1 通	2		
	臨床心理学高度実践Ⅱ	2 通	2		
	臨床心理学高度実践Ⅲ	3 通	2		
	小計 (3 科目)	—	6	0	0
特別研究	特別研究	1・2・3 通	6		
	小計 (1 科目)	—	6	0	0
合計 (8 科目)		—	12	7	0

履修方法

- (1) 臨床研究科目の必修科目 1 単位
- (2) 臨床研究科目の選択必修科目 2 単位以上
- (3) 臨床実践科目の必修科目 6 単位
- (4) 特別研究 6 単位

●研究指導の標準的なスケジュール

研究指導の標準的なスケジュールは以下の通りです。

《1 年次》 1 年次前期から必修科目である「特別研究」を履修し、研究遂行に必要な知識と技能を習得します。そして各自の博士論文執筆のための計画を主指導教員に相談しながら起案します。臨床研究科目の学修をしながら、前期中に副指導教員を決定します。その後は主指導教員と副指導教員がともに、研究プロトコル作成の指導、研究倫理審査の指導、学会発表・論文投稿の指導にあたります。本課程の教員及び学生の参加する発表会で 1 年次生の博士論文研究の進捗状況を報告し、ディスカッションを経て研究計画を磨きあげます。1 年次 3 月までに査読のある学術雑誌に原著論文 1 本目を投稿します。

《2年次》 臨床研究科目の学修と「特別研究」での知識・技能の習得を継続します。主指導教員と副指導教員の研究指導のもと投稿論文採択までの修正と対応を行い、博士論文にかかる研究データの分析を進めます。適宜、研究成果を国内外の学術大会で発表し、2年次12月までに査読のある学術雑誌に原著論文2本目を投稿します。2年次末には、本課程の教員及び学生の参加する発表会で博士論文研究の進捗状況を報告し、ディスカッションを経て博士論文の構成を洗練します。

《3年次》 「特別研究」を履修するとともに、引き続き投稿論文採択までの修正と対応、学術大会での研究発表を続け、博士論文にかかる研究データの分析結果の整理と総合考察を行って博士論文を執筆します。3年次1月までに博士論文本体を提出し、学内に公開で実施される学位論文審査（論文審査及び最終試験）を受けます。なお、学位論文審査を受けるためには、学生本人を筆頭著者とする原著論文2編以上が査読のある学術雑誌へ掲載済であるか、あるいは掲載が決定していなければなりません。

●学位論文審査体制

1) 審査体制

学位論文審査は、医学系研究科教授会が設置した学位論文審査委員会にて行われます。学位論文審査委員は、学位論文ごとに、主査1名、副主査2名とし、いずれも臨床心理学専攻専任教員が担当します。審査委員は、研究科教授会で協議され、研究科長が指名します。

学位論文審査は公開とし、最終試験は口頭による発表と試問を行います。最終試験終了後、学位論文審査委員会からの審査報告に基づき、医学系研究科教授会専門委員会において学位授与の可否を審議し、研究科教授会へ付議します。研究科教授会は、医学系研究科教授会専門委員会からの報告に基づき、学位授与の可否を議決します。

2) 審査基準

学位論文の審査基準は以下のとおりです。

- ① 臨床心理学の発展に寄与できる研究課題である
- ② 学術論文として、新規性、創造性、応用的価値がある
- ③ 研究方法や倫理的配慮が妥当である
- ④ 文献が適切に引用され、論旨の一貫性がある
- ⑤ 学位論文は和文もしくは英文で書かれている

6. 学位論文の公表方法

学位論文は医学部図書館に保管するとともに、国立国会図書館に電子媒体で納本し、第三者の閲覧を可能にします。また、学位論文及び内容の要旨と論文審査結果の要旨は、本学のホームページにおいても公表します。

授業科目及び担当教員

(医学系研究科臨床心理学専攻博士後期課程)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			担当教員	備考
			必修	選択	自由		
臨床研究科目	臨床心理学における倫理	1通	1			橋本 忠行、太田 美里	
	臨床心理学講究	1・2通		2		太田 美里、川人 潤子、神原 憲治、坂中 尚哉、竹森 元彦、谷渕 真也、野口 修司、橋本 忠行、長谷 綾子	
	臨床心理学プロジェクト研究	2通		2		太田 美里、川人 潤子、神原 憲治、坂中 尚哉、竹森 元彦、谷渕 真也、野口 修司、橋本 忠行、長谷 綾子	
	小計 (3科目)	—	1	4	0		
臨床実践科目	臨床心理学高度実践Ⅰ	1通	2			太田 美里、川人 潤子、神原 憲治、坂中 尚哉、竹森 元彦、谷渕 真也、野口 修司、橋本 忠行、長谷 綾子	
	臨床心理学高度実践Ⅱ	2通	2			太田 美里、川人 潤子、神原 憲治、坂中 尚哉、竹森 元彦、谷渕 真也、野口 修司、橋本 忠行、長谷 綾子	
	臨床心理学高度実践Ⅲ	3通	2			太田 美里、川人 潤子、神原 憲治、坂中 尚哉、竹森 元彦、谷渕 真也、野口 修司、橋本 忠行、長谷 綾子	
	小計 (3科目)	—	6	0	0		
特別研究	特別研究	1・2・3通	6			各指導教員	
	小計 (1科目)	—	6	0	0		
合計 (8科目)		—	12	7	0		

●履修方法

- (1) 臨床研究科目の必修科目 1 単位
- (2) 臨床研究科目の選択必修科目 2 単位以上
- (3) 臨床実践科目の必修科目 6 単位
- (4) 特別研究 6 単位